

2号機 S/C水素パーティジのための窒素封入試験（2回目）の実施について （概要版）

平成25年7月25日
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

1

1. 経緯

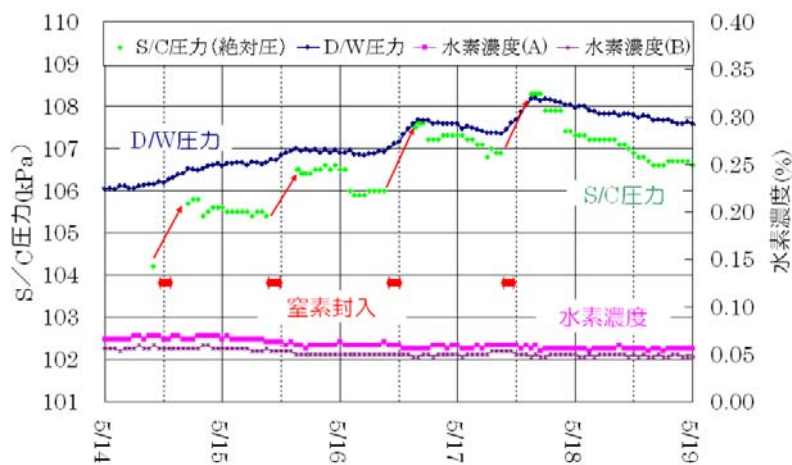
2号機については、1号機と同様にS/C内部に事故時に発生した高濃度の水素ガスが残留している可能性があることから、5月にS/Cへの窒素封入を実施している。

1回目の結果(S/Cから窒素を封入)

- ①S/C圧力の上昇
- ②D/W圧力も連動して上昇
- ③D/W内部の水素濃度についてはほぼ変化なし

考察

S/C圧力に連動してD/W圧力が上昇していることから、S/C内部の気体が、真空破壊弁及びベント管を經由しD/W側へ流入した可能性が考えられる。
一方で、S/C内に存在すると考えていた水素がD/Wで確認されていないことから、気体の流れができていない可能性もある。



1回目の結果

2回目以降の封入方法

S/C内部の気体がD/W側へ移動していることの有無を確認するため、窒素封入試験（第2回目）を実施。



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

2

2. 2回目の試験目的とスケジュール

試験は以下の目的別に2段階に分けて実施する。

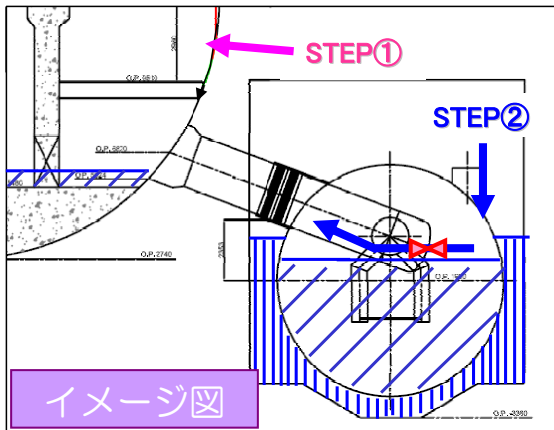
2回目の試験目的

STEP①(D/Wから窒素封入)

：D/Wから窒素封入し、D/W圧力上昇の到達点を確認。

STEP②(S/Cから窒素封入)

：S/CからSTEP①と同量の窒素を封入し、D/W圧力が同じ到達点になることを確認。
→水素濃度の上昇が確認できなくても、S/CとD/W間の流れが形成されたことを確認。



スケジュール

- STEP①については、7月22日(月曜日)から窒素封入を開始。
- STEP②については、8月上旬以降に実施予定。